

日本遺産 (Japan Heritage) とは

- 地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として認定。ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化・観光振興を図ることを目的とする。
- 日本遺産については、2020年度までに100件程度の認定を目指し、2020年6月の認定をもって104件。認定件数は当面の間、100件程度とするこれまでの認定方針を堅持することとなっている。
- 令和3年度より、新たに「候補地域」、「総括評価・継続審査」の仕組みを導入。日本遺産全体の底上げ、ブランド力の強化を図っている。

日本遺産オフィシャルパートナーシップについて

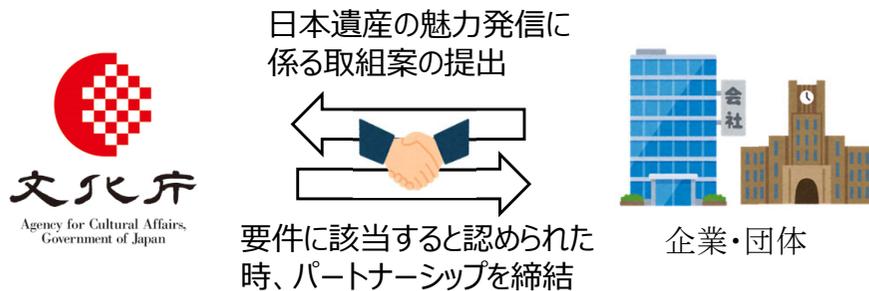
- 文化庁と企業・団体が相互に協力し、日本各地の日本遺産地域の活性化につなげる。
- 企業・団体は、パートナーシップが締結された場合、日本遺産のロゴマークを無償で使用することができる。
- 日本遺産は、地域の文化を体現したストーリーであり、それに対する取組は、CSRやSDGsに寄与する。

【参考】日本遺産ロゴマーク



歴史と生きる、日本を紡ぐ

パートナーシップを締結するためには？



スケジュール

令和6年5月7日 募集開始
令和6年7月31日 第1回募集締め切り
令和6年8月末 採否連絡
令和6年9月27日 第1回締結式

令和6年12月20日 第2回募集締め切り
令和7年1月中旬 採否連絡
令和7年2月中旬 第2回締結式

パートナー企業・団体における取組のイメージ

- ・ 社内報等で社員に対して日本遺産の魅力を紹介
- ・ Webページや公式SNSで日本遺産の魅力を発信

など